NAKAKIDA☆きらら学園 小中一貫教育

Leave No One Behind ~誰一人取り残さない~ 【自ら学び 共に歩み 未来を拓く子ども】
めざす子ども像

- ・世界へ羽ばたく夢を持てる子ども
- ・笑顔と自己有用感にあふれた子ども
- ・基礎を固め、孝、学、体が備わった子ども

地域とともにある学校
「チーム木田小」
・教職員
・地域
・保護者
・関係諸機関

令和7年度木田小学校 学校運営方針

目標 子どもと先生が安心して過ごせる「チーム木田小」

子どもも先生も「今日も学校が楽しかった。明日も学校に行きたいな。」と思えるように。

取組

組織対応できる学校体制

学年

- ・学年で子どもを育てていく意識
情報共有、相談、対応
(授業、生徒指導事案等)
- ・全教職員で関わる意識
情報共有、高いアンテナ
- ・子どもと保護者に寄り添う生徒指導

- ・支え合える
- ・明るく、過ごしやすい
職員室

校務分掌

- ・動く組織
企画委員会を中心とした学校運営
部長、主任が主軸
全員が学校運営に参画する意識
- ・機能する部会
業務をチームで行う
部長、主任は全体の把握と調整

サポートし合う体制
「おたがい様」という意識

組織=チーム

子どもが主体的に考え、動こうとする気持ちを育てる

仲間づくり

- ・居場所としてのクラス
- ・自分のことをわかってくれる先生
- ・お互いのことをわかっている仲間
- ・自己有用感の向上

授業

- 研究推進委員会を中心とした教師主体の授業研究と推進
- ・全員参加型の授業
協働学習(学び合い)
- ・探求型の授業
- ・深い学びを意識した授業

授業で子どもを育てる

学力
体力
非認知能力
考える力

- 学校全体で系統立てて取り組む
(研究推進委員会を中心とした実践)
- ・スモールステップで積み上げていく
- ・授業に全員が主体的に参加
学ぶ・体を動かすことへの意欲の向上
- ・宿題(木田プリ)を毎回全員やりきらせる(レベルを子どもに合わせる)
「わからない」ままにしない
- ・全ての教育活動で非認知能力の向上を図る。